

西蓮社（旧増上寺報恩蔵）蔵嘉興版大蔵経目録データベース

公益財団法人東洋文庫 主幹研究員
會谷佳光

はじめに

本データベースは、西蓮社が所蔵する嘉興版大蔵経の悉皆調査に基づいて作成・整理した書誌情報をデータベース化したものである。

西蓮社所蔵の嘉興蔵は、『大正新脩大蔵経』（以下「大正蔵」と称す）編纂の際、その底本・校本として、「増上寺報恩蔵」の名で多くの経典が採録されたことで知られている。そこで、本データベースでは、西蓮社本のうち大正蔵が底本・校本として採用した経典にスキニングを行い、IIIF化して書誌データとリンクさせた。また、本データベースとは別に、『大正新脩大蔵経』底本・校本データベースを構築し、大正蔵に収録される全経典の底本・校本を一覧化したデータベースを作成して、本データベースとリンクさせた。

以下に、本データベースと関連する拙稿を挙げる。適宜ご参照いただきたい。

『西蓮社（旧三縁山増上寺山内寺院報恩蔵）収蔵嘉興版大蔵経目録』（西蓮社、2012年3月。<http://doi.org/10.24739/00006484>）

『旧三縁山増上寺山内寺院・報恩蔵西蓮社志稿』（西蓮社、2012年9月。<http://doi.org/10.24739/00006483>）

「増上寺報恩蔵（西蓮社）と『大正新脩大蔵経』の編纂」（『仏教史学研究』第60巻第2号、2018年3月）

「『大正新脩大蔵経』の初版・再刊・普及版の刊行をめぐって」（『東洋文庫書報』第51号、2020年3月。<http://id.nii.ac.jp/1629/00007370/>）

「『大正新脩大蔵経』の底本と校本一巻末「略符」・『大正新脩大蔵経勘同目録』・脚注の分析を通して」（東洋文庫リポジトリ ERNEST 2019年度科学研究費補助金 研究成果、2020年3月。<http://id.nii.ac.jp/1629/00007257/>）

最後に、西蓮社本の悉皆調査、およびスキニングによる画像データ作成にあたっては、西蓮社の青木照憲住職、細川聡洋副住職にひとかたならぬご協力を賜った。また、本目録のデータベース化にあたっては、東京大学情報基盤センター助教の中村覚氏に、システム開発、西蓮社本の画像のIIIF化などを実施いただき、全面的にご支援いただいた。ここに記して、深甚の謝意を表したい。

本データベースは、JSPS 科研費 18K00073 の助成を受けたものである。

2020年8月19日記

凡 例

【所 在】

現在の西蓮社における収蔵場所を表します。「書名目録」をクリックするか、ご覧になりたい連・箱・函をクリックしてから「詳細目録」に切り替えてご利用ください。

項目名	説明	例
連	西蓮社の収蔵場所の区画（1～7）を表す。	3
箱	箱の通し番号（001～111）を表す。1連に16箱を納める（第7連のみ15箱）。	03 15
函	函の通し番号（001～333）を表す。1箱は3段に分かれ、1段につき1函ずつ納める。	022 139
存/完（冊）	「現在の西蓮社における収蔵場所」において、各函の収録冊数を「現存冊数/完存する場合の冊数」の形で表す。10冊すべてそろっている場合は「10/10」、6冊中1冊を欠く場合は「5/6」と表示する。冊数が不明の場合は「？」とする。	10/10 5/6 0/?

【書名目録】

西蓮社本の書名目録です。もっと詳しい情報をご覧になりたい方は、「詳細目録」に切り替えてください。連・箱・箱を選択し直したい方は、「所在」に切り替えてください。

項目名	説明	例
分類	分類を表す。	經 大乘經 般若部 經 小乘經 阿含部 律 大乘律 論 小乘論 大明續入藏所集 續藏 又續藏
函冊	函の通し番号と、函内の冊の順序を「-」で結んで表す。なお、函は通番であるが、冊は上下に分かれているもの（例：(1)、(2)）や欠冊があるため、必ずしも通し番号ではない。複数の函冊にまたがる經典の場合は、最初の函冊と最後の函冊を「～」でつないで表す。欠冊がある場合は、「(闕)」で表す。	113-07 114-01～117-10 153-10(闕) 176-05 ～ 176-06(176-06 闕)

經番	『昭和法宝總目錄』第2巻所収『大明三藏聖教北藏目錄』に付された通し番号に対して、西蓮社本を表す「U」を冠したもの。本DBでは、別立てしている經典に同一番号を割り振ったもの、順番が錯綜しているもの、重複して所蔵されるものもあるため、個体番号でも通し番号でもない。	U1243 U1613(重複) U續 123 U又續 022 U----
通番	西蓮社本の各經典に付した通し番号を表す。正蔵、続蔵、又続蔵の別なく一貫する、各經典の個体番号(0001~2084)として設定した。	0001 1256 2084
經典名稱・卷數	經典名稱・卷數・附録などの基本情報を、「經典名+卷數+附録」の形で記載した。	佛說八吉祥經 1巻 佛說盂蘭盆經 1巻 附校 譌音釋 佛說得道梯墮錫杖經 1 卷 附持錫杖法 1巻
譯著者	經典の訳著者を「朝代+姓名+譯著の別」の形で記載した。訳著の役割分担が異なる著者を列記する場合は「,」でつないで示し、役割分担が同じ著者を並列で表す場合は「・」で示す。朝代が不明な場合、および姓名の一部に不明な部分がある場合は「□」、姓名がともに不明の場合は「闕名」と記載した。	唐釋玄奘譯 天親菩薩造, 北魏菩提 留支譯 北魏菩提留支・曇林等譯
版式	經典の版面構成の特徴を記載した。版式が嘉興蔵の定型の版式(雙邊 有界 10行 20字など)と一致する場合は単に「定型」と記載し、定型と異なる版式の場合は異なる箇所を記載した。	定型 單邊 有界 8行 17字 單 白魚尾白口 句點
刊記	經典の巻末等に刊年を記した刊記・識語等がある場合、「元号+幾年刊」の形で記載した。刊年が記載されていない場合は「不明年刊」と記載し、印刷の不鮮明等の理由により、刊年に不明な箇所がある場合は「□」で表す。	萬曆 26年刊 萬曆 44・45年, 天啓 6 年刊 不明年刊 □□5年刊 □□□□刊

備考	破損・落丁・補刻刊記など重要な補足事項がある場合に記載した。	卷上 1-11 丁大破 卷十 15 丁以下闕 卷一 15 丁, 丁巳恒瑞重刊
寸法	各経典の第一巻巻頭の匡郭の右辺・上辺を計測した数値(単位cm)と、その計測箇所を記載した。	22.7×14.9 cm(卷一 1a)
寸法(備考)	破損・欠落等以外の理由(異書同巻・附録など)で第一巻巻頭以外の寸法を計測した場合に記載した。	華嚴原人論 23.1× 14.9cm(5a) 卷四 23.0×14.9cm(1a) 二筆 21.4×14.1cm(1a), 三筆 21.6×14.0cm(1a)
大正蔵採録状況 (1)	大正蔵で西蓮社本(「増上寺報恩蔵蔵本」)もしくは「明本」が用いられている場合、「大正蔵の経典番号+底本/校本+(テキスト)」の形で表示した。本 DB 上で、これをクリックすると、『大正新脩大蔵経』底本・校本データベースの該当箇所を表示することができる。	T0001 校本(明本) T0874 底本(増上寺報恩蔵蔵本) T1909 校本(増上寺報恩蔵蔵本)
大正蔵採録状況 (2)	西蓮社本に対応する大正蔵が 2 つある場合に 2 つ目のものを表示する。	
大正蔵採録状況 (3)	西蓮社本に対応する大正蔵が 2 つある場合に 3 つ目のものを表示する。	
大正蔵採録状況 (4)	西蓮社本に対応する大正蔵が 2 つある場合に 4 つ目のものを表示する。	

【詳細目録】

西蓮社本の詳細目録です。さらに詳細な情報（項目名に「*」が付いているもの）をご覧になりたい方は、「more」欄の「▶」をクリックしてください。書名のリストをご覧になりたい方は、「書名目録」に切り替えてご利用ください。連・箱・箱を選択し直したい方は、「所在」に切り替えてください。

項目名	説明	例
分類(1)*	分類の第1項目を表す。經・律・論・西土賢聖撰集・此土撰述・大明續入藏諸集・北藏缺南藏函號附・續藏・又續藏からなる。	省略
分類(2)*	分類の第2項目を表す。大乘經・小乘經・宋元入藏諸大小乘經・宋元入藏諸大小乘經之餘・大乘率・小乘律・大乘論・小乘論・宋元續入藏緒論からなる。分類(2)がない項目もある。	
分類(3)*	分類の第3項目を表す。分類(3)があるのは、「分類2」の大乘經・小乘經のみ。	
連	西蓮社の収蔵場所の区画（1～7）を表す。	3
箱	箱の通し番号（01～111）を表す。	15
段	各箱の何段目に収蔵されるか（1～3）を表す。	1
冊	各段の何冊目に収蔵されるかを表す（01～16）。	11
闕	西蓮社本に欠けている（存在しない）ことを表す。「闕」は西蓮社本のみ欠落、「原闕」は他本にもともと存在しないもの、「原闕か」は他本にもともと存在しない疑いのあるものを表す。	闕 原闕 原闕か
函冊次	該当レコードが第何函の第何冊にあたるかを表す。原則、「表紙の函次(書入)」によるが、これがない場合は「表紙等(備考)」「函(通番)」「段」によって記載した。「函-冊」の形で記載し、1冊が上下冊に分けられている場合は末尾に(1)(2)を付した。	001-01 333-04 054-05(1) 054-05(2)
表紙の函次（書入）*	表紙に書き入れられた函冊次を記載した。	壹函之一
表紙等（備考）*	表紙・裏表紙・書背・書根に見える書き入れ等の特記事項を記載した。	「四十三函」と朱書す 裏表紙闕

函(種別通番)*	正藏(正 001~210)・續藏(續 01~90)・又續藏(又續 01~33)別の函の通し番号を表す。	正 001 續 01 又續 01
函(通番)*	函の通し番号(001~333)を表す。正藏・續藏・又續藏は区別しない。	326
經番	『昭和法宝総目録』第2巻所収『大明三藏聖教北藏目録』に付された通し番号に対して、西蓮社本を表す「U」を冠したもの。本DBでは、別立てしている經典に同一番号を割り振ったもの、順番が錯綜しているもの、重複して所蔵されるものもあるため、個体番号でも通し番号でもない。	U1243 U1613(重複) U 續 123 U 又續 022 U----
通番	西蓮社本の各經典に付した通し番号を表す。正藏、続藏、又続藏の別なく一貫する、各經典の個体番号(0001~2084)として設定した。	0001 1256 2084
枝番	同じ通番内の何番目のレコード(1~最大618)かを表す。	1 618
寸法(1)*	各經典の第一巻巻頭の匡郭の右辺を計測した数値(単位cm)を記載した。	22.7
寸法(2)*	各經典の第一巻巻頭の匡郭の上辺を計測した数値(単位cm)を記載した。	14.9
計測箇所(1)*	寸法の計測箇所のうち巻次(内容)を記載した。	卷一
計測箇所(2)*	寸法の計測箇所のうち丁数・表裏(ab)を記載した。	1a
題簽*	題簽の有無、特徴を記載した。単に「有」とある場合は刷題簽(印刷された題簽)を表し、刷題簽と同じ青色の料紙に枠のみ印刷し、書名等を書き込んだものは「書貼(青)」と表記した。その他形状等がわかるように記載し、破損状況等は「()」で注記した。	有 書貼(青) 有(上半闕)
題簽(備考)*	題簽にかかわる特記事項を記載した。刷題簽が表紙から剥がれている、題簽が入れ違って貼られている、刷題簽に書入がある、刷題簽と同様の装訂で正方形の収録經典リストが貼られている等。	刷題簽ハガレ 題簽中部に墨筆「一之十」 収録經典リストあり

千字文	<p>千字文は、經典の並び順を著す漢字一字と序数詞(1～11)の組み合わせで構成される。嘉興藏では、版心下部、まれに巻頭・巻尾に記される。</p> <p>「千字文」欄は、版心の記載を最優先して採録した。版心に記載がない、または破損などで確認できない場合は、刷題簽に印字された千字文、巻頭・巻尾の千字文の順に採録した。版心下部が墨丁（未刻）の場合や破損している場合において、刷題簽に千字文が印刷されていれば、1冊分すべてこれによって記載した。</p> <p>版心の表裏両面にわたって印刷される場合は「千字文+半角数字」、表面にのみ印刷される場合は「千字文+半角数字/」（「/」は改行を表す）、裏面にのみ印刷される場合は「/千字文+半角数字」、表面に千字文、裏面に序数詞が印刷される場合は「千字文/半角数字」のように記載した。千字文が墨丁の場合は「■」、千字文がない場合は「×」と記載した。</p>	<p>天 1 天 1/ /天 1 天/1 ■ × 南履/北臨</p>
千字文(備考)*	「千字文」欄の採録根拠等を記載した。	<p>版心千字文「臨九」 版心下部墨丁 題簽千字文「履」</p>
經典名稱	<p>經典の名称を記載した。同じ通番の經典は、原則、同じ名称となるが、例外も若干ある（通番 1668 の黄檗山斷際禪師傳心法要と黄檗山斷際禪師宛陵録など）。</p>	<p>佛說孟蘭盆經 佛說得道梯墜錫杖經</p>
經典名稱(備考)*	「經典名稱」欄にかかわる備考として、「經典名稱」欄の根拠や、題簽題・版心題等を記載した。	<p>版心題「華嚴經普賢行願品」 巻頭書名「廣弘明集歸正篇序」 題簽題「妙法蓮華經玄籤」、版心題「妙玄籤」 巻頭書名なし 巻によって巻頭書名異なる。目次題による</p>

卷次等	卷次・序跋・附録（音釋・校譌を除く）等を記載した。「卷第一」は「1」、「卷第一之一」は「1(1)」、「卷第一之上」は「1(上)」のように記載した。	1 上 1(1) 〇〇序 □□跋
卷次等(根拠)*	「卷次等」欄を巻頭以外の部分より採録した場合に、その根拠を記載した。	「目録」は版心による 「後序」は版心による
卷次等(備考)*	「卷次等」欄にかかわる特記事項（欠巻、巻単位での順序の顛倒、版心に刻される巻次が異なる場合等）を記載した。	卷一闕 卷上下顛倒 題簽卷次「一之五」 版心「卷四」 巻頭卷次「三十二」之 「二」字闕落
卷次等(譯著者)*	「卷次等」欄の譯著者を記載した。	唐釋宗密撰集 巻によって編者異なる
丁數	最初の丁と最後の丁を「-」で結んで記載した。最初の丁が表から始まる場合は単に「1」とし、裏から始まる場合は「1b」と記載した。最後の丁は必ず表か裏かを「a」「b」で記載した。1丁のみ場合は「1a」「1b」「1ab」で記載した。	1a 3b 1-22b 3b-5a
丁數(備考)*	丁の破損・欠落・錯丁・又丁（例えば「三十」丁の次に「又三十」丁がある場合）・補鈔等を記載した。	21 丁闕 1-15 丁破損大 20・21 丁顛倒 27 丁補鈔 14 丁丁附「又十三」
本文(備考)*	本文中に見られる特記事項のうち印刷されているものを記載した。	U1224 卷下題下に「略明般若末／後一頌讚述附」とあり 21 丁本文にままだ墨丁あり 23a に圖あり 26b 末題不鮮明
本文(書入等)*	本文中に見られる特記事項のうち書き入れによるものを記載した。	墨點 16b に朱筆書入あり 注記・校記を記した紙片の貼附多數

匡郭の形状(異版のみ)*	匡郭の形状が定型(雙邊)と異なる場合に初出の巻において記載した。なお、雙邊であっても定型と形状が異なる場合は記載した。	單邊 左右雙邊 波形邊
界線・行款(異版のみ)*	界線・行款が定型(有界10行20字)と異なる場合に初出の巻において記載した。	無界10行20字 無界10行21字 有界8行17字 有界11行21字
版心(異版のみ)*	版心が定型(無魚尾白口)と異なる場合に初出の巻において記載した。	單魚尾上白口下白口 單白魚尾白口 雙魚尾小黒口 無魚尾線黒口
版心(補刻記等)*	版心に補刻記・助刻者名等が印刷されている場合に記載した。	3・4丁版心中下間「康熙九年重刊」 この經, 版心中下間に「信士汪廣刻」等助刻者名あり
版心(備考)*	版心に「版心(補刻記等)」欄以外の特記事項がある場合に記載した。	版心上部墨丁 版心上部「善信／撰述」 1a版心下部に刻工名あり
附點・首書・科文等*	点の有無・種類や、首書・科文等版式にかかわる特記事項がある場合に記載した。なお、嘉興蔵の定型は無点であるが、他の版式が嘉興蔵の定型と異なる場合には無点であっても記載した。	句點, 傍點 句四聲點 首書 科文
卷末附録(1)	卷末に校譌・音釋の類の附録物がある場合に記載した。	校譌 音釋 〈音/釋〉 存疑
卷末附録(2)	卷末に校譌・音釋の類の附録物の2つ目がある場合に記載した。	
卷末附録(3)	卷末に校譌・音釋の類の附録物の3つ目がある場合に記載した。	
卷末附録(4)	卷末に校譌・音釋の類の附録物の4つ目がある場合に記載した。	
卷末附録(備考)*	校譌・音釋等が題のみであったり、墨丁が含まれる場合等に記載した。	音釋題のみ 音釋墨丁多し 校譌注文墨丁

刊記	<p>經典の巻末に刊記・識語等がある場合、「元号＋幾年刊」の形で記載した。原文が干支で記載されている場合は干支で記載した。刊年が記載されていない場合は「不明年刊」と記載し、印刷不鮮明等の理由により、刊年に不明な箇所がある場合は「□」で記載した。嘉興蔵の刊記には普通枠があるが、枠がない場合は末尾に「(無枠)」と付記した。</p>	<p>萬曆己丑刊 乙巳刊 (無枠) □□辛丑刊 □□□□刊 不明年刊</p>
刊記(西暦年)*	<p>「刊記」欄の刊年の西暦年を記載した。</p>	<p>1559</p>
刊記(備考)*	<p>巻末の刊記が不鮮明な場合や、誤字、墨丁、破損箇所等がある場合、刊記後に刻字数・出版経費に関する注記等がある場合、巻末に助刻芳名・蔵版記等がある場合に記載した。</p>	<p>不鮮明 墨丁あり 一部破損 刊記後に刻字数・出版費の注記あり 助刻芳名 末「板存嘉興府楞/嚴寺經坊流通」</p>
巻末墨丁*	<p>巻末に墨丁がある場合に記載した。</p>	<p>墨丁</p>
巻末墨丁(所在)*	<p>巻末墨丁の所在を記載した。</p>	<p>音釋前 校譌後 巻末 刊記前 刊記後</p>
圖像	<p>巻首・巻尾に圖像がある場合に記載した。圖像は圖柄によって分類し、近似する圖柄は①②③④のように番号を付して区別し、「圖像(圖柄)」「圖像(丁裏)」「圖像(備考)」各欄に詳細を記した。</p>	<p>釋迦二比丘像①～⑤ 釋迦三尊像①～② 淨土變相圖 比丘童子像①～③ 韋馱天像①～④ 釋迦說法圖①～② 維摩詰經相 釋迦像①～② 釋迦比丘像 釋迦三比丘像①～② 阿難餓鬼像 佛母准提像 etc</p>

圖像(所在)*	圖像の所在を記載した。	卷首表 U0142 維摩詰所説經卷 上卷首表裏
圖像(圖柄)*	圖像の圖柄の特徴を記載した。	釋迦は蓮華座に坐す 釋迦は蓮華座に坐す. 右比丘は胡麻髭、左比丘は剃髮 童子は剃髮せず 丁表・丁裏ともに釋迦, 文殊, 阿難, 舍利弗, 十方菩薩等を描く
圖像(丁裏)*	圖像の裏面に偈や序文などが印刷されている場合に記載した。	丁裏に偈「皇圖鞏固 帝道遐昌／佛日增輝 濃輪常轉」あり(蓮牌木記) 丁裏に序等あり 丁裏に贊あり
圖像(備考)*	「圖像(所在)」「圖像(圖柄)」「圖像(丁裏)」以外の、圖像にかかわる特記事項を記載した。	版心下部白口 版心下部墨丁 丁表の版心下部に「般若堂刻」、丁裏に施刻者「〈荊溪／襄楚〉釋〈雲素／微言〉捐貲敬鐫」あり
印記*	各冊の卷首や巻尾に捺印された蔵書印を記載した。1丁に同一の印が2箇所捺されている場合は「(2ヶ)」と注記した。	「増上寺／報恩藏」印 「雅山／之章」印(2ヶ) 「猶龍窟」 「破書／顔圖」印
印記(備考)*	蔵書印の顛倒等特記事項を記載した。また中国人の印記(印造者等の印と思われるものを含む)を記載した。	「雅山／之章」印横轉 34丁補鈔に「雅山／之章」印あり 9a「陶印」墨印 30b「靖元」墨印 13b「肇聖」墨印 「蔣惟／華記」茶印